

授業科目名	国際観光論	単位数	2単位
担当教員名	遠藤理一	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
「学位授与の方針」との関係			
DP2. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標			
<p>①国際観光が発展してきた歴史的背景と現状についての知識を得る。</p> <p>②国際観光に関する諸現象について、社会学・観光社会学の基本的なキーワードを用いて理論的に考えられるようになる。</p> <p>③国際観光にはどのような問題があるのか、またどのような可能性があるのかについて、歴史的・理論的に考えられるようになる。</p>			
授業の概要			
日本でも国際的にも観光産業は重要視されるようになっていきます。経済的効果だけでなく、観光は観光客や現地の人の人生のなかで意味をもったり、都市や観光地の文化を生み出したり変化させたりする場合があります。この授業では国際観光の歴史的背景や現状について学ぶとともに、社会学や人類学、歴史学での観光にかんする議論を紹介し、国際観光についての歴史的・理論的な理解を深めることを目指します。			
授業計画			
<p>第1回：観光とは何か/観光学とはどのようなものか(第I部 第1章/第2章)</p> <p>第2回：近代的観光の発展(第I部 第3章)</p> <p>第3回：ポストモダン社会と観光(第I部 第4章)</p> <p>第4回：観光客のまなざし(第III部 第1章)</p> <p>第5回：真正性(第III部 第2章)</p> <p>第6回：伝統の創造(第III部 第3章)</p> <p>第7回：ディズニーランド化(第III部 第4章)</p> <p>第8回：メディア(第III部 第5章)</p> <p>第9回：観光経験(第III部 第6章)</p> <p>第10回：パフォーマンス(第III部 第7章)</p> <p>第11回：ホスピタリティ(第III部 第8章)</p> <p>第12回：遊び(第III部 第9章)</p> <p>第13回：ジェンダー(第III部 第10章)</p> <p>第14回：ポストコロニアリズム(第III部 第11章)</p> <p>第15回：観光まちづくり(第III部 第12章)</p> <p>科目修得試験</p>			
スクーリングでの学修			
テキスト			
大橋昭一・橋本和也・遠藤英樹・神田孝治編、2014、『観光学ガイドブック—新しい知的領野への旅立ち』ナカニシヤ出版。			
参考書・参考資料等			
<p>(1) 遠藤英樹、2007、『ガイドブック的!観光社会学の歩き方』春風社。</p> <p>(2) 矢ヶ崎紀子、2017、『インバウンド観光入門—世界が訪れたい日本をつくるための政策・ビジネス・地域の取り組み』晃洋書房。</p> <p>(3) 白幡洋三郎、1996、『旅行ノススメ—昭和が生んだ庶民の「新文化」』中央公論新社。</p>			
学生に対する評価			
レポート評価(50%)、科目修得試験(50%)			